

創立20周年記念



第20回発達性ディスレクシア研究会

日時
会場

2021年 10月 16 日(土)~ 17 日(日)

ワインクあいち：5階「小ホール1」 現地＆オンライン開催

基調
講演

Prof. Fumiko Hoeft (University of Connecticut , USA)

1. Early detection and intervention for children with developmental dyslexia
(発達性ディスレクシアの早期発見、早期対応に関して)
2. Causal mechanism and compensatory mechanism in children with developmental dyslexia
(発達性ディスレクシアの原因と補完(改善)のメカニズム)

主催
大会長

発達性ディスレクシア研究会 (Japan Dyslexia Research Association:JDRA)

宇野 彰 (発達性ディスレクシア研究会理事長、NPO法人LD・Dyslexiaセンター理事長)

参加費

発達性ディスレクシア研究会 会員6,000円、非会員9,000円、学生3,000円

同時
開催

日本初の「ディスレクシア デイ」開催！
発達性ディスレクシアを正しく理解しよう！

当事者の講演・座談会あり

第1回発達性ディスレクシア デイ

10月17日(日) 14:30~16:00 参加無料(要:申込み)

後援

International Dyslexia Association (IDA)、文部科学省(予定)

愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、ディスレクシア協会名古屋

アクセス

ワインクあいち (愛知県産業労働センター)
〒450-0002
愛知県名古屋市中村区名駅4-4-38

- JR名古屋駅桜通口から:ミッドランドスクエア方面 徒歩5分
- ユニモール地下街 5番出口から:徒歩2分
- 名駅地下街サンロードから:ミッドランドスクエア、マルケイ観光ビル、名古屋クロスコートタワーを経由 徒歩8分
- JR新幹線口から 徒歩9分



プログラム

1日目(2021年10月16日:土)

開場・受付開始

9:30

開会挨拶

10:00-10:10 宇野 彰 (発達性ディスレクシア研究会 理事長)

来賓挨拶

10:10-10:25 加藤 典子 様 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官)

10:25-10:30 休憩

研究発表 セッション1 座長:河野 俊寛 (金沢星陵大学)

10:30-10:55(オンライン)

1. 読み書き習得度の低い児童における立方体透視図模写 (NCC) の描画特徴に関する研究
佐野 剛雅 (多摩北部医療センター)

10:55-11:20(オンライン)

2. 定型発達児と読み書き困難児の運動覚性記憶の検討
小田部 夏子 (国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センター)

11:20-11:35 休憩

研究発表 セッション2 座長:後藤 多可志 (目白大学)

11:35-12:00(現地)

3. 児童および生徒における漢字の書字所要時間に影響する要因について
横井 美緒 (国立障害者リハビリテーションセンター研究所)

12:00-12:25(オンライン)

4. 日本語話者の発達性ディスレクシア児童における文字列並列処理の障害は視覚的注意スパンの欠陥で説明ができるのか?
蔦森 英史 (北海道教育大学)

12:25-13:45 昼休み

第 20 回発達性ディスレクシア研究会
(2021.10.16-17 於ウインクあいち)

教育講演 1 (オンライン) 司会 : 宇野 彰 (発達性ディスレクシア研究会 理事長)

13:45–14:30 Causal and Compensatory Mechanisms of Developmental Dyslexia
Hoeft Fumiko 教授 (University of Connecticut, USA)

14:30–14:45 休憩

研究発表 セッション 3 座長:若宮 英司 (藍野大学)

14:45–15:10 (現地)

5. 外国にルーツのある児童への読み書きと語彙検査の適用可能性について-韓国語と日本語のバイリンガル児童を対象として-
周 英實 (目白大学)

15:10–15:35 (現地)

6. 英語よりも日本語の読みに強く困難さを示した英語-日本語のバイリンガル生徒の読み困難-発達性ディスレクシア? 言語環境が直接の原因?-
三益 亜美 (筑波大学)

15:35–15:45 休憩

研究発表 セッション 4 座長:大岡 治恵 (日本福祉大学中央福祉専門学校)

15:45–16:10 (オンライン)

7. かな文字音読時間延長の有無による語彙や基礎的学力の検討-日本版 KABC-II 「習得検査」を用いて-
水田 めくみ (大阪医科大学 LD センター)

16:10–16:35 (現地)

8. 発達性読み書き障害のある児童における無意味文字列の速読訓練による音読流暢性改善の効果
宇野 彰 (NPO 法人 LD・Dyslexia センター)

閉会挨拶

16:35–16:40 宇野 彰 (発達性ディスレクシア研究会 理事長)

2 日目(2021 年 10 月 17 日:日)

開場・受付開始

9:30

挨拶

10:00-10:10 宇野 彰 (発達性ディスレクシア研究会 理事長)

研究発表 セッション 5 座長：三益 亜美 (筑波大学)

10:00-10:25(オンライン)

9. 読みに困難がある児童への文節区切りを強調した日本語レイアウトの効果-分ち書き・ずらし書きの有無による検討

奥村 智人 (大阪医科大学小児高次脳機能研究所・LD センター)

10:25-10:50(現地)

10. ユニバーサルデザインデジタル教科書体が発達性読み書き障害児の音読の正確性と流暢性に与える影響

後藤 多可志 (目白大学)

10:50-11:15 休憩

教育講演 2 (オンライン) 司会：宇野 彰 (発達性ディスレクシア研究会 理事長)

11:15-12:15 Early Identification and Intervention of Developmental Dyslexia

Hoeft Fumiko 教授 (University of Connecticut , USA)

12:15-13:10 昼休み

2020 年度 発達性ディスレクシア研究会 総会 13:10-13:30

発達性ディスレクシア研究会(JDRA)の歴史

13:30-13:50 宇野 彰 (発達性ディスレクシア研究会 理事長)

閉会挨拶

13:50-14:00 宇野 彰 (発達性ディスレクシア研究会 理事長)